令和５年　６月　２８日

令和４年度　特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学　校　名	管理機関名	設置者の別
足利市立坂西北小学校	足利市教育委員会	公立

１．特別の教育課程の内容

（１）特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成１５年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「教育課程特例校編成の基本方針等について」を参照。

２．特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

（１）特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

⊙計画通り実施できている

・一部、計画通り実施できていない

・ほとんど計画通り実施できていない

（２）保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

⊙実施している

・実施していない

（３）自校における評価

・第１学年から英会話学習を行うことで英語への慣れ親しみはできていて、「英語＝楽しい」という意識付けにつながっている。

・第１学年から英語に触れておくことで、中学年・高学年になったときに外国の方と話すことへの抵抗を減らすことができている。

・５、６年生対象の「英語チャレンジＤＡＹ」の実施により、ＡＬＴやＥＡＡと進んでコミュニケーションをとることができている。

（４）学校関係者による評価

＜児童＞

・英語の時間が楽しみ。
・英語で歌ったりゲームをしたりするのが楽しい。
・先生が優しく、楽しく教えてくれることがいい。
・自分から、外国の方にあいさつができるようになった。
・「英語チャレンジＤＡＹ」を通して、英語で話すことが楽しかったから、もっと英語を学んで自分の気持ちを英語で話したい。
・コミュニケーションが大事だと学んだ。
・実際に旅行に行くときに英語が使えるので、役立つ。

＜保護者＞

・学校公開で英語の授業を見て、こんなに楽しく授業をしていることが分かった。
・小学校で英語の授業を行うことで、英語への興味関心が引き出されている。
・楽しく遊びながら英語に親しみ、慣れていくことはよい。
・これからも、たくさんの英語を話せるようになってほしい。

３．　実施の効果及び課題

効果

・毎時間、歌やゲームで英語に楽しく慣れ親しむことができた。
・行事や季節に結びつけた活動を取り入れながら外国の文化にもふれ、外国に対する関心も高めることができた。
・「話すこと」「聞くこと」だけではなく、「読むこと」「書くこと」の活動も段階的に取り入れることができた。
・他教科の授業、給食、休み時間、清掃活動等できる限りＡＬＴやＥＡＡと児童がコミュニケーションをとれる時間を確保したことが、英語に慣れ親しむことにつながっていると考える。

課題

・打ち合わせの時間が十分に確保できていない。
・児童の振り返りが、次時の学習内容の検討や児童の評価に生かせるようにしたい。

４．課題の改善のための取組の方向性

・打ち合わせ時間を位置づけ、ＡＬＴやＥＡＡと授業の進め方や役割分担を確認することで、連携して授業が行えるようにする。
・児童のコミュニケーション活動を促すため、クラスルームイングリッシュを教室に掲示したり、担任が進んで英語を使うように心がけたりする。
・学年に合わせた振り返りカードを作成したり、授業での活動の様子をどう見取るか話し合ったりして、評価方法をより具体化していく。